



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

(氏名) 堀 直樹
(氏名) 木村 隆宣

TEL 075-591-2131

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-----|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 6,301 | 44.5 | 235 | 6.6 | 238 | △4.0 | 227 | △2.4 |
| 27年3月期第3四半期 | 4,360 | 11.0 | 221 | 6.6 | 248 | 7.6 | 232 | 19.4 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 184百万円 (△24.9%) 27年3月期第3四半期 245百万円 (23.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 1.63 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 1.67 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 13,908 | 9,393 | 67.3 |
| 27年3月期 | 13,765 | 9,275 | 67.4 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 9,360百万円 27年3月期 9,275百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 1.00 | 1.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-----------------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 8,921 | 39.5 | 400 | 41.3 | 405 | 21.8 | 360 | 20.8 |
| | | | | | | | | 2.59 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名) Ladvik(Thailand), YAMASHINA BANG KOK FASTENING、除外 1社 (社名) Y'sアセットマネジメント
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 28年3月期3Q | 143,611,765 株 | 27年3月期 | 143,611,765 株 |
| 28年3月期3Q | 4,461,579 株 | 27年3月期 | 4,461,575 株 |
| 28年3月期3Q | 139,150,190 株 | 27年3月期3Q | 139,150,282 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、企業収益や雇用に改善がみられるなど、先行きについても緩やかな回復の継続が見込まれております。しかし、中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れにより、国内経済も下押しされるリスクの存在等もあり、依然として不透明な状況は続いております。

また、当社グループの主要取引先である自動車業界においては、国内新車販売は停滞しており、メーカーの国内生産台数も前年同四半期比で落ち込んだことで、当社グループを取り巻く経営環境も厳しさを増しております。

このような厳しい状況のもと当社グループにおいては、受注の確保、生産効率の改善等による原価低減、製品開発の推進等に努める等の企業体質の強化を図ると共に、新たにYAMASHINA BANGKOK FASTENING CO., LTDの株式を追加取得し、東南アジア市場へ販路拡大の強化に取り組みました。

この結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は連結子会社の増加により、6,301百万円（前年同四半期比44.5%増）、営業利益は235百万円（前年同四半期比6.6%増）となりましたが、為替変動による為替差損の計上により、経常利益は238百万円（前年同四半期比4.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は227百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

主要取引先である自動車業界において、国内生産台数が前年同期比で落ち込んだことで、当第3四半期連結累計期間の受注が減少方向で推移しておりますが、連結子会社の増加による増収により、売上高は5,006百万円（前年同四半期比69.9%増）、営業利益は272百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

(電線・ケーブル事業)

既存取引先における在庫調整等により、売上は低調な推移となっており、厳しい状況が続いていることで、売上高は1,115百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は16百万円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

(不動産事業)

保有不動産のメンテナンス等にも注力することで、安定した稼働率の確保に努めたことで、売上高は171百万円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益は90百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(その他事業)

主として売電事業から構成されておりますが、ソーラーパネルの設置については、保有不動産の有効活用目的に限定しリスクの低減を図っており、売上高は8百万円（前年同四半期比22.8%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業損失0.4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて143百万円(2.5%)増加し、5,950百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が69百万円、棚卸資産が213百万円増加し、短期貸付金170百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6百万円(0.0%)減少し、7,957百万円となりました。これは、機械装置108百万円増加し、投資有価証券が139百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて52百万円(2.0%)増加し、2,624百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が170百万円増加し、未払金が31百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて27百万円(1.4%)減少し、1,891百万円となりました。これは、長期借入金が104百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて118百万円(1.3%)増加し、9,393百万円となりました。これは、利益剰余金が245百万円増加し、配当実施による資本剰余金が139百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「平成27年度3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたLadvik (Thailand) Co.,Ltd. は重要性が増したため、連結の範囲に含めており、連結子会社でありました株式会社Y'sアセットマネジメントは重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

また、YAMASHINA BANGKOK FASTENING CO.,Ltd. の株式を追加取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

Ladvik (Thailand) Co.,Ltd. 及びYAMASHINA BANGKOK FASTENING CO.,Ltd. の決算日は12月31日であり、連結決算日との差異は3ヶ月以内であるため、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、当該子会社の平成27年9月30日現在の四半期財務諸表を使用しております。

なお、四半期連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当第3四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,786,414 | 1,805,788 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,401,482 | 2,471,412 |
| 有価証券 | 15,459 | 15,462 |
| 商品及び製品 | 489,793 | 626,539 |
| 仕掛品 | 271,287 | 313,391 |
| 原材料及び貯蔵品 | 360,353 | 395,115 |
| その他 | 484,660 | 323,183 |
| 貸倒引当金 | △2,101 | △148 |
| 流動資産合計 | 5,807,350 | 5,950,744 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,537,977 | 1,498,117 |
| 土地 | 4,628,728 | 4,631,014 |
| その他(純額) | 852,980 | 1,106,926 |
| 有形固定資産合計 | 7,019,686 | 7,236,058 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 97,855 | 93,702 |
| その他 | 59,373 | 49,960 |
| 無形固定資産合計 | 157,228 | 143,663 |
| 投資その他の資産 | | |
| 破産更生債権等 | 1,155,223 | 1,155,182 |
| その他 | 813,292 | 605,463 |
| 貸倒引当金 | △1,187,150 | △1,182,724 |
| 投資その他の資産合計 | 781,365 | 577,920 |
| 固定資産合計 | 7,958,280 | 7,957,641 |
| 資産合計 | 13,765,630 | 13,908,385 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 838,615 | 1,009,511 |
| 短期借入金 | 1,168,796 | 1,150,034 |
| 未払法人税等 | 8,529 | 13,677 |
| 賞与引当金 | 69,350 | 43,602 |
| その他 | 486,634 | 407,231 |
| 流動負債合計 | 2,571,925 | 2,624,056 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 446,660 | 341,670 |
| 退職給付に係る負債 | 350,910 | 370,136 |
| 役員退職慰労引当金 | 17,820 | 20,080 |
| 環境対策引当金 | 26,117 | - |
| その他 | 1,077,017 | 1,159,208 |
| 固定負債合計 | 1,918,525 | 1,891,095 |
| 負債合計 | 4,490,450 | 4,515,151 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 90,000 | 90,000 |
| 資本剰余金 | 6,553,308 | 6,414,158 |
| 利益剰余金 | 1,328,148 | 1,573,911 |
| 自己株式 | △131,729 | △131,729 |
| 株主資本合計 | 7,839,727 | 7,946,339 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,895 | 5,806 |
| 土地再評価差額金 | 1,422,557 | 1,422,557 |
| 為替換算調整勘定 | - | △14,624 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,435,452 | 1,413,738 |
| 非支配株主持分 | - | 33,155 |
| 純資産合計 | 9,275,180 | 9,393,233 |
| 負債純資産合計 | 13,765,630 | 13,908,385 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 4,360,247 | 6,301,552 |
| 売上原価 | 3,528,030 | 5,089,750 |
| 売上総利益 | 832,217 | 1,211,802 |
| 販売費及び一般管理費 | 611,063 | 976,079 |
| 営業利益 | 221,153 | 235,722 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,814 | 3,818 |
| 受取配当金 | 360 | 471 |
| 助成金収入 | - | 11,007 |
| 為替差益 | 19,581 | - |
| その他 | 18,932 | 19,516 |
| 営業外収益合計 | 41,688 | 34,813 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,681 | 11,693 |
| 為替差損 | - | 16,538 |
| その他 | 5,046 | 4,209 |
| 営業外費用合計 | 14,727 | 32,441 |
| 経常利益 | 248,114 | 238,095 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 156 | 638 |
| 環境対策引当金戻入額 | 1,592 | 3,759 |
| 段階取得に係る差益 | - | 2,359 |
| 保険解約返戻金 | 2,134 | - |
| 特別利益合計 | 3,883 | 6,756 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 483 | 1,845 |
| 固定資産除却損 | 2,490 | 1,618 |
| 特別損失合計 | 2,973 | 3,463 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 249,024 | 241,388 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,083 | 13,578 |
| 法人税等合計 | 16,083 | 13,578 |
| 四半期純利益 | 232,941 | 227,809 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | 571 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 232,941 | 227,237 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 232,941 | 227,809 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,240 | △7,089 |
| 為替換算調整勘定 | - | △36,662 |
| その他の包括利益合計 | 12,240 | △43,752 |
| 四半期包括利益 | 245,181 | 184,057 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 245,181 | 185,807 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | △1,750 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。